一身田の新聞
発行
一身田地区
社会福祉協議会
編集長
岡本博和
バックナンバーは
こちらから
http://miegenki.jp/jinai/?page_id=103
笑顔の拠点　豊野いきいきサロンを紹介
外国人から見た一身田　世界の共通語は笑顔です

一身田レポート

# 地域の笑顔の拠点
## ふれあい・いきいきサロン豊野クラブ
### 他愛もない世間話でストレスの発散

2月のある日曜日の朝、豊野団地にある『豊野いきいき喫茶サロン』を訪れた。今日は月一回の開店日だ。もうすでに多くの人が「おはよう」とお互いに挨拶を交わしながら集まってきていた。コーヒーや紅茶は100円、トーストと卵がつくと150円。本当に安くておいしい。こうしたサービスができるのは地元自治会や社会福祉協議会からの支援があるからである。

スタッフは、地元婦人会を中心に約30名。いつも15名ほどがお手伝いに来ているとスタッフの森睦子さんは言う。この日も39人のお客さんで6つのテーブルは満席状態。どのテーブルも笑顔でいっぱい。お客さんの一人、山口さんは「みんなの声を聞くだけで幸せ」と話してくれた。当サロンの代表の町川浩二さんは「一人ぼっちを生まない、させないを合言葉にしている。今後も長く続けていきたい」と熱く語ってくれた。地域に地域の方々が集う笑顔の拠点があることのすばらしさを改めて感じた。（岡本）

超満員の豊野の喫茶サロン。まあ！皆さんはよくしゃべる。そして、よく笑う。さらに声も大きい。まさしく健康のための特効薬だ。この日に合わせて自治会や老人会の会合もあった。

## 「おいでよ　豊野クラブ」

豊野団地　婦人会
会長　三岳千津子

「豊野倶楽部」は8年前の平成22年8月に豊野連合自治会により「ふれあい・いきいきサロン」としてスタートしました。

空き家や一人暮らしの家庭が増え、地域とのかかわりも希薄になってきました。このまでは豊野団地は・・そこで、誰もが楽しく気楽に参加でき、住民の絆づくり、笑顔の絶えない地域の楽園（アルカディア）を目指し、オープンしたのです。

「豊野倶楽部」は豊野婦人会メンバーが中心となり、豊野連合自治会、一身田地区社会福祉協議会、津市社会福祉協議会からの補助も頂いて運営しています。サロンには高齢者の方や、子育て中の親子など様々な方が参加します。今後はもっと沢山の方に来て頂けるようスタッフ全員で頑張ります。お一人の参加もオッケーです。合席で交友関係も広がります。いつでもウェルカムですよ！是非お越し下さい。

また、サロンがこれからも継続的に運営出来るようにお手伝い頂けるスタッフも募集しています。私達と一緒に貴方の参加をお待ちしています！

ふれあい・いきいき

サロン豊野倶楽部
毎週第4日曜日9時30分～11時30分
＊豊野会館にてモーニング営業しています。

# ご朱印ブームに想うこと

松阪市　義明寺住職　高藤英光

近年、神社やお寺を巡ってもらう「朱印」が一大ブームとなっていますが、この「朱印」について少し考えてみましょう。

本来の「朱印」とは、領主（特に戦国時代以降の大名など）が公文書に捺した朱肉の印のことで、その印が捺されたものを朱印状と呼んでいました。これが「朱印」の始まりです。

では「朱印帳」はどうしてできたのでしょうか。当初は、「朱印帳」ではなく、現在でも使われている名称で「納経帳」でした。つまり、お寺に「写経」を納めた証の印を集めた帳面でした。それがいつごろからか、「写経」を納めなくても参詣するだけで「朱印」をもらえるようになり、それを集めた帳面を「朱印帳」と呼ぶようになりました。こうした流れが神社へも広がっていったようです。

このことからわかるように、宗教的な意味合いはなく参詣の記念としていただける印が、「朱印」ということになったわけです。本願寺派など一部の宗派では、「朱印」は教義に反するから書かないという所もあるようですが、元々「朱印」には教えはないのです。「神社とお寺とは別々にした方がよいですか」ということを耳にしますが、全くもって意味がわかりません。

私はそんな参詣者に参詣の思い出として「朱印」を書いています。その文言は「専修寺」です。最近は「国宝如来堂・御影堂」と見開きで書いています。

また、「お七夜」や「修正会（お正月）」には期間限定で金字の「朱印」も提供しました。

さらに、昨年三月から本山では「朱印帳」の販売も始めました。これは本山でしか手に入らないもので　、カラフルな紙を使った独自の「朱印帳」です。表紙には「朱印帳」の文字はなく参詣の思い出アルバムとして使っていただけるようになっています。

今ブームを迎えている「朱印」ですが、これをご縁として多くの観光客が本山〈参詣し、一身田の街並みを散策し楽しんでいただけたら幸いです。

高田本山　専修寺の朱印

# 外国人から見た一身田
## 「世界の共通語は笑顔」

高田中学・高校英語指導助手　アイゼンハート惺子

私は八年前にサンフランシスコから来日し、津市内の公立学校で英語指導助手をした後、現在の学校で働くことになりました。来日した理由は、お母さんが日本人なので日本に興味があったからです。

私は一身田の古い町並みが大好きです。自転車で学校へ向かっている時、毎朝、見かけるおじいさんとバンダナをしたおばあさんがいます。このおじいさんは毎日、神社の掃除をしています。おばあさんはこのおじいさんとの会話を楽しんでいます。「おはようございます」と二人に挨拶をすると、「おはよう」と大きな声で返してくれます。毎日見かけるこの光景が好きで、この光景から安心感をもらっています。

私は和菓子が大好きです。一身田には和菓子が美味しいお店があります。ゆっくりと立ち寄って、お店の人とお話しながら美味しいお菓子を食べたいと思っています。一身田は親しみがわき、心が和む町だと思います。そして、時間があれば一身田のいろいろな行事にも参加して一身田のことをもっと知りたいと思っています。また、多くの人に一身田を知ってもらえるようなイベントをプロモートする機会があれば、私も参加したいと思います。

最後に、一身田の皆さん、外国人と話すのは言葉がわからないからと遠慮しないでください。世界の共通語は英語じゃなくて笑顔です。地域の皆さんとそんなお付き合いができればうれしいです。

# 専修寺と寺内町を描く
## 鼻谷裕次郎の個展

とき　4月4日～9日まで
ところ　高田会館ギャラリー

この度、旧作を含めて作品展を開催いたします。専修寺と寺内町の四季を感じて頂ければ幸いです。（鼻谷）

昭和初期～昭和30年代のクラシックカー
一身田に約７０台集合

4月13日（金）午後　1時頃　高田本山周辺

「あたたかい声援が何より」と主催者
堺正章も参加予定

# 市議会議長就任にあたって

今回6回目の当選を果たさせて頂きましたことに衷心より御礼申し上げます。過去15年間、地元の市議会議員として市政に送り出して頂き、皆様から寄せられました様々なご意見や御要望が実際の成果を得られますよう、一つずつに取り組んできました。五六川最終改修、寺内町景観整備、市道浜田長岡線の道路改良等は、大きな成果と自負しています。

より良い地域環境を次代を担う地域の子どもたちに引き継げますよう、皆様のお力をお借りして頑張ります。

また、市議会議長に就任させて頂き、津市議会を、議員生活の集大成として市民の皆様の信頼をより得られる議会にしていきたいと、心身を引き締めているところです。

岡　幸男

# みんなの便り

## コペルニクス的発想の転換を

一身田小学校長　川本伸也

3月16日、平成二十九年度の卒業証書授与式を行いました。今年度は、108名の子どもたちが一身田小学校を巣立ちました。最後に授与した卒業証書は第13、783号でした。まさに歴史と伝統を物語る数字です。

私は式辞の中で、今、話題になっている小説「君たちはどう生きるか」の一部を紹介しました。コペルニクスが発想を転換させて「地動説」を導き出したように、常に自分中心の考え方「自分ファースト」から、集団の中にいる自分を見つめてみるという発想の転換についてです。自分は、自分の人生において紛れもなく主人公であるわけですが、仲間や社会を構成する一員でもあることを感じ取ってほしいと願ったからです。

今年度も地域の方々には、子どもたちを温かく見守り、育てていただきました。卒業生には、そんな皆さんの思いをしっかりと感じ取れる人になってほしいと思っています。

私事ですが、3月末をもって定年退職させていただきました。地域の皆様方には大変お世話になり心より感謝申し上げます。

## ナイトスクールの今

サポーターいっちゅう事務局　石川正浩

サポーターいっちゅう（一身田中学校支援地域本部）では学習支援事業として「ナイトスクール」を運営。部活動が忙しい、クラスの授業についていけない、諸理由で自宅では学習できないなどの子どもたちを対象とし週1日10週、19時から21時までの2時間、北部市民センターを会場とし子どもたちの学びの場を提供しています。

この学びの場でサポーター登録者が、子どもたちの質問に答えたり、プリントの添削をしたり、受付や運営管理をするなどして関わっていただいています。このサポーターへの登録者は、会社員や自営業者、主婦や教員OBなどで、週一回のナイトスクールに参画していただいています。また、学校の先生方も参加していただいています。

学習内容としては、数学と英語を1時間ずつとしていますが、試験直前には、理科や国語の勉強をしてもかまわないとしています。また、1年生から3年生まで一つの部屋で共に学んでいます。「今さら学校では聞けない初歩的なことや、ずっと解らなかったことなどをサポーターには気楽に尋ねることができる」「サポーターと一緒に考えることが楽しい」「担任でない先生もいて聞きやすい」と子どもたちの評価も良く、先生方にとっても「学校とは違う子どもたちの表情が見られる」「子どもたちの変化をキャッチできる場となっている」などのメリットがあるということから積極的にナイトスクールへ参画していただけるようになっています。

しかし、11年目のナイトスクールはサポーターの参加が減少しサポーターの確保が課題となっています。地域の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

## さしく　やさしく　たくましく

## 前に進んでいくことを願って

一身田中学校長　横山徳浩

3月8日、あいにくの小雨の中でしたが、本年度も生徒会役員と「サポーターいっちゅう」の方が作成したシーバルクのエールのもと、第70回目となる卒業証書授与式を行いました。

本年度は179名の生徒が卒業し、本校の卒業生の総数は20、437名となりました。改めて歴史の長さを感じます。

卒業生と過ごした期間は1年間だけでしたが、特に印象に残っている場面は、日々の授業の様子でした。教室に入るといつも温かい風を感じました。そこにはグループで学び合う中で生徒同士がしっかりとつながっている姿、和やかな雰囲気の中で感じ取ることができた真剣さがありました。中学校3年生の授業を参観して、これほど感動し、これほど癒されたのは初めてでした。卒業生は近い将来、この町、あるいはこの国を担う宝物のような存在です。今後もこれまで以上の温かいご支援を地域の方々にお願い致します。

179名の卒業生は父親や母親、先生後輩に見送られた

## 名古屋学院大学　杉浦ゼミ生が提言

### 地域イノベーション（新市場開拓、新商品開発）について

名古屋学院大学の杉浦ゼミ（杉浦礼子准教授）学生20名が一身田で一泊二日の合宿を行い、「地域」イノベーション」（新市場開拓、新商品開発）についての発表会があった。杉浦先生とは前任の大学時代から交流があり、その都度指導を頂いていた。

プレゼンでは学生特有の視点から見えてきた提案や課題点の指摘が多く出された。

女子学生グループからは、「かわいい、カラフル、古風、ここだけ」のキーワードを使ってSNSで多くの情報を発信すべきだと提案。また、男子学生からは、中学生や高校生、大学生らの若者をターゲットにした食べ歩きのできる商品開発を急ぐべきだ。また、『環濠』が有効活用してないのはもったいない。水のある環濠を利用してイベントを行っては！」との提案。さらに、「ハスのある街」をアピールしていくには、市販されているハス茶のペットボトル、ハスの洗剤、入浴剤、石鹸などを研究してアレンジしては！」と、提案があった。

学生たちの独創的な発想は、一身田の活性化に向け、大いに参考となるものであった。

（岡本）

## 「1年間を振り返って」

一身田スポーツ少年団　団長　小澤康孝

めっきり春らしくなり、つい先日まで六年生だった7名の団員たちもめでたく小学校を卒業しました。2月3日には団員、保護者、指導員約40名参加のもと、六年生の卒団式が盛大に行われました。

29年度はソフトボールの大会や練習試合で年間46試合を戦い、戦績は20勝24敗2分、打率は2割2分6厘で、30本のホームランが飛び出しました。津市スポ少の行事では、津シティマラソンや駅伝大会、ドッヂビー大会へ参加しました。一身田地区の行事では、7月のグランドゴルフ大会、8月の盆踊り大会、9月の町民運動会などに参加し、貴重な体験をすることができました。

最後に卒団した六年生7名から届いた声を紹介します。

『スポ少最高に楽しかったです・小寺輝流』『スポ少での経験を中学校でも生かしたいです・鈴木悠斗』『中学校でも野球を一生懸命頑張ります・大家悠暉』『スポ少で最高の思い出がたくさんできました・松本空大』『ピッチャーになれるように頑張ります・奥村陸』『中学校は違うけど頑張りたいです・立藤鉄平』『教えてもらった事を忘れず頑張ります・吉沼颯斗』

この子たちが自分の夢に向かって頑張ってくれることを期待しています。

## しん坊君のリニュアルにご協力を！

一身田商工振興会　会長　中川隆功

一身田の地元PRキャラとして活躍中の「しん坊」君ですが、長年の活躍で 最近あちらこちらが老朽化してきました。自慢の水色の服の色は褪せて虫に食われたり、赤ちゃんなのに、シミやシワも増えました。顎が外れて骨折していることも判明しました。

2017年11月、高田本山専修寺の御影堂・如来堂が国宝となり、一身田のPR役としての、増々の活躍が期待される中、新調をしないと今後の元気な活動が困難な状況です。

しかしながら、管理しています一身田商工振興会の予算も大変厳しく、会だけで独自でリニューアルする資金がありません。

そこで大変ご無理なお願いではありますが、しん坊を愛して頂く皆様にもご協力をお願いすることになりました。

ご協力をいただいた方々には、返礼の品として、特性の高田本山国宝化を記念したメダルなどをプレゼントさせていただきます。返礼品のお渡しは5月頃を予定しております。詳しくは一身田商工振興会会長　中川隆功まで

☎232－2366

第10回「一身田元気凧揚げ大会」が2月11日行われ、初参加の一中美術部の大凧も天高く揚がった。

## （株）中部システムセンター　地域の子ども達にオフィスの一角を無料で開放

近鉄高田本山駅近くの（株）中部システムセンターは、放課後に集まれる場として、地域の子どもにオフィスの一角を無料で開放している。

みんなで読書したり宿題をしたり、頭脳ゲームをしたりして楽しく過ごす企画である。また、パソコンの分解や創造ワークショップなど企業としての企画も盛りだくさん。お菓子やドリンクも用意、「親子でどうぞ」と呼びかけている。

開放の曜日や時間など詳しくは主催者まで

☎232－3174
津市一身田平野1750の1

## 春の囲碁まつり

とき　5月13日（日）
ところ　一身田公民館
参加費　1，500円
〆切　5月1日（火）まで

囲碁愛好者ならどなたでも！

申し込みは
囲碁サークル
木曜会
232－1079まで